

ドラテク磨きつ、レーサー気分で仲間と遊ぶ

オーバルコースを
逆ハン、ドリフトで
駆け抜ける
プロトラックレーシング

これが実際にマシンに乗り込んだ人間のアングル。けっこ速ぞでしょ

急ぎよ行なわれたホリティーカップ争奪戦。みんながまっすぐ走ってるのはスタートのときくらいのモシ

いわゆるスリックカートって呼ばれてるツルツル路面で遊ぶカートっていうのは、簡単なようで結構コツがいる。

とにかく、やつたらめつたら路面は滑るんだから、普通のクルマの運転感覚で走ろうとしてもコイツはなかなかいふことを聞かない。エンジンは汎用の100ccくらいのもので、せいぜい5psくらいしかないんだけど、スタートで全開になるとホイールスピニングするくらいなんだからそのグリップレベルの低さは分かるでしょ。要するにツルツルなんです。

だから、コーナーの入口で普通にハンドルを切つたって、すごいアンダーステアが出るだけでなかなか曲がっちゃくれない。外側のカーボトレール目かけて一直線だ。

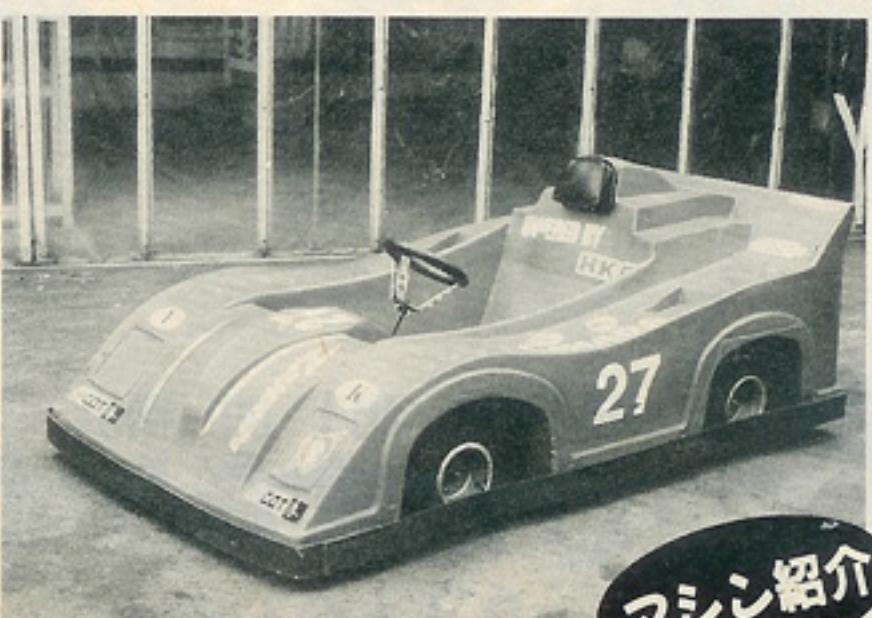
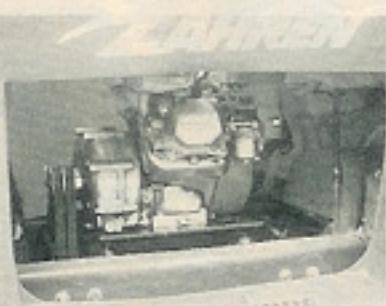
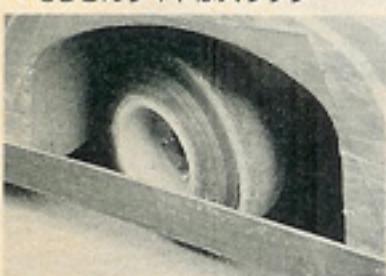
コイツの必殺テクは、まず一発ステアリングを切り込んでアンダーが出たところで、ひるまずにさらにスロットルオンすること。

普通のクルマの場合は、そんなことをすると余計アンダーが出ちゃうんだけど、スリックカートはとにかくアクセルでケツを流して曲がるしかないのだ。

ケツさえ流せばこっちのものだから、このあとアクセルコントロールでカウントダウンを維持するのは普通のクルマと同じ。テクニック、ドラテクの向上にも結構タメになる。

真横になつて、2台揃つてフルカウントダウンでコーナーを抜けて行くなんていうワザは、よそじやちよつと体験できませんからね。（レポート・鈴木直也）

▼もちろんタイヤはスリック



▶見た目はGCカー。ただし大きさは4分の1くらい。でもこれ、1台120万円もするのだ
▲エンジンは100cc 5ps程度
◀ステアリングは小径20φ(?)右がアクセル、左がブレーキだ

マシン紹介